

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●日本ダービーはロジャーパローズが優勝

5月26日(日)に行われた東京優駿(日本ダービー/G I)では単勝12番人気のロジャーパローズ(牡3歳/栗東・角居勝彦厩舎)が優勝、重賞初制覇を日本ダービーの大舞台で成し遂げました。勝ちタイム2分22秒6は、2015年ドゥラメンテが記録した2分23秒2を更新するレースレコード。二桁人気の馬による日本ダービー制覇は1966年テイトウ以来53年ぶり5回目のことで、単勝の払戻金9310円は1949年タチカゼの5万5430円に次ぐ日本ダービー史上第2位の高額配当記録となりました。

●松岡正海騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

5月26日(日)の3回京都12日・第1レースでストームガストに騎乗した松岡正海騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上30人目、現役では18人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●目黒記念で芝2500mのJRAレコード更新

5月26日(日)の2回東京12日・第12レースとして行われた目黒記念(G II)ではルックトゥワイス(牡6歳/栗東・藤原英昭厩舎)が勝利しました。勝ちタイム2分28秒2は、2013年の同レースでムスカテルが記録した2分29秒6を更新するコースレコード、かつ2004年の有馬記念でゼンノロブロイが記録した2分29秒5も更新する芝2500mのJRAレコードとなりました。

●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2017年アンタレスS(G III)の勝ち馬モルトベアーネ(牡7歳/栗東・松永昌博厩舎)は、5月23日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績32戦7勝・地方1戦0勝で、今後は地方・門別競馬に移籍する予定です。2014年京王杯2歳S(G II)の勝ち馬セカンドテール(牡7歳/栗東・中尾秀正厩舎)は、5月25日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は30戦3勝で、今後は北海道岩内町のホーストラスト北海道で乗馬となる予定です。2015年札幌2歳S(G III)の勝ち馬アドマイヤエイカン(牡6歳/栗東・須貝尚介厩舎)は、5月26日(日)に行われた目黒記念(G II)のレース中に左第1指関節脱臼を発症して競走を中止、予後不良となり、同日付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は20戦4勝でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ウインムートがさきたま杯(浦和)を逃げ切り2度目の重賞制覇

さきたま杯(Jpn II、5月29日、浦和、1400m)は、先手を取った4番人気のウインムート(和田竜二騎手、牡6歳、父ローズインメイ)が2馬身半差で逃げ切り勝ち。ダッシュが付かず5番手からの競馬となった1番人気のサクセスエナジーが2着、2番人気のキタサンミカヅキ(船橋)が3着に入り、3番人気のサンライズノヴァは4着、モーニンは5着でした。

●スーパージンガ(佐賀)が栄城賞を圧勝【各地の主要3歳重賞】

九州ダービー栄城賞(5月26日、佐賀、2000m)は、5番手から3コーナー過ぎに先頭に立ったスーパージンガ(牝、父バンブーエール)が後続を5馬身引き離し、単勝1.2倍の支持に応えました。

●ヤマニンアンプリメらが参戦、6月6日の北海道スプリントC

北海道スプリントC(Jpn III、6月6日、門別、1200m)は、ヤマニンアンプリメ、シュウジ、タテヤマ、ノボバカラのJRA勢4頭が拮抗しており、混戦模様です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛2000ギニー〜フェニックスオブスペインがG1初制覇

5月25日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛2000ギニー(3歳牡牝、芝1600m)は4番人気タイ(単勝17倍)のフェニックスオブスペイン(牡、父ロペデヴェガ)が3馬身差で逃げ切って、G1初制覇を果たしました。2着に昨年の欧州最優秀2歳牡馬トゥーダーンホット。英2000ギニー馬マグナグリーシアは5着に終わりました。勝ったフェニックスオブスペインは2歳8月にG3エイコムS(芝1400m)に優勝。ここは昨年10月のG1フューチュリティトロフィーS(芝1600m)2着以来の休み明けでした。J.スペンサー騎手、C.ヒルズ調教師(イギリス)はともにこのレース初制覇です。

●G1チャンピオンズ&チャターC〜エグザルトantが制す

香港のシャティン競馬場で5月26日に行われたG1チャンピオンズ&チャターC(3歳上、芝2400m)はZ.パートン騎手騎乗のエグザルトant(騾5歳、父テオフィロ、A.クルーズ厩舎)が1馬身1/4差で優勝しました。エグザルトantは前走のG1クイーンエリザベスII世C(芝2000m)はウインブライトの2着でしたが、これで昨年12月のG1香港ヴァーズ(芝2400m)、今年2月のG1香港ゴールドC(芝2000m)に続くG1・3勝目となりました。同レースに出走した北海道のハッピーグリーン(服部茂史騎手、牡4歳、父ローエン格林)は、6〜7番手追走から3、4コーナーでは差を詰めたものの直線で失速し、勝ったエグザルトantから17馬身1/4差の8着でした。